

学校支援地域本部事業

取り組みの概要

学校支援地域本部事業は、学校長や教職員、PTAなどの関係者を中心とする学校支援地域本部を設置し、その下で地域住民が学校支援ボランティアとして学習支援活動や部活動の指導など地域の実情に応じて学校教育活動の支援を行うものです。退職教職員、PTA経験者など学校と地域の現状をよく理解している「地域コーディネーター」が配置され、学校との調整などを行っています。学校の授業補助、校内の図書室での書籍貸し出しなどの管理・運営、校庭の芝生や花壇などの整備など多岐にわたっています。

協働のきっかけ

社会がますます複雑多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化する中で、学校が様々な課題を抱えているとともに、家庭や地域の教育力が低下し、学校に過剰な役割が求められるようになってきました。このような状況のなかで、これからの教育は、学校だけが役割と責任を負うのではなく、これまで以上に学校、家庭、地域の連携・協働のもとに進めていくことが不可欠です。学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを大きな目的としています。

学校地域連携課



地域住民（PTA等）

家庭・地域と「目指す子ども像」を共有し、その実現に向けて連携・協働した取組を進めることにより、地域ぐるみで子どもを育てることができる。

強み

学校と「目指す子ども像」を共有し、その実現に向けて連携・協働した取組を進めることにより、地域ぐるみで子どもを育てるとともに、住みよい地域づくりへとつなげることもできる。

- ・学校支援ボランティア活動の企画・実施
- ・広報活動
- ・ボランティアの募集等
- ・学校と地域の連絡調整

役割

- ・学校支援ボランティア活動への参加

協働の成果

学校支援ボランティア活動に参加した感想

- 参加してくださった皆さんが、笑顔で楽しみ、満足感や達成感を味わうことができた。
- 学校と地域の距離が一層近付いた。 ○地域の連帯感や一体感を感じることができた。
- 学校教育の充実が図られた。

協働のポイント

コーディネーターやボランティアの育成・学校の意識改革を図る・既成の事業や制度を含めた総合的な整理を行っていくこと

学校支援ボランティア活動のイメージ

- 教科の学習サポート例
 - * 簡単な教材の作成を補助する。
 - * 校外学習の引率を補助する。
 - * 地域住民によるTTの実施

- 異世代交流の実施例
 - * 茶道や華道を通じて礼儀や作法を指導
 - * 英語活動で簡単な英会話を指導する。
 - * 読み聞かせや朝の読書の指導をする。
 - * 農業体験や食の指導の講師をつとめる。



- 学校・地域連携事業例
 - * 「花いっぱい運動」
 - * 学校行事のサポート
 - * 合同行事の実施

- 教育環境の整備支援例
 - * 農園や花壇の整備を補助する。
 - * 入学や卒業を祝う壁面をともに作る。
 - * 校舎周辺の魅力を向上させる作業